

成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する  
関係府省庁連絡会議  
成人式の時期や在り方等に関する分科会  
(第6回)

第1 日 時 令和元年7月29日(月) 自 午後 1時30分  
至 午後 2時30分

第2 場 所 法務省共用会議室5

○座長 ただいまから成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議，成人式の時期や在り方等に関する分科会の第6回会議を始めさせていただきます。

本日は，各市町村向けのアンケート調査のクロス集計の結果をご報告するとともに，本日の主な議題として，大分県国東市教育委員会の社会教育課長でいらっしゃいます真城孝之様にお越しいただいておりますので，成人式のあり方について，国東市のお立場やお考えをお聞きすることになっております。

それでは，早速ですが，自治体向けのアンケート結果のクロス集計結果について，私からご説明いたします。

前回，それぞれの質問に対して，どういう回答がどれぐらいの割合であったかということをご説明いたしましたけれども，それぞれの質問項目に対する回答とほかの質問に対する回答が相互にどのように関連しているのかを示したのも併せてご紹介することが有益であろうということで，今回資料もお配りしております。

資料1-1をごらんいただきますと，一番上に「地域」と「現在の実施時期」の関連性を示した表が記載されていると思います。

内容はこちらに記載されているとおりですけれども，1月（成人の日を含む三連休）で実施しているところが一番多いものの，例えば東北地方とか中部地方では，1月（成人の日を含む三連休）の割合が少し低く，8月（お盆の時期など）に実施しているところが，ほかの地域と比べて高くなっているという特徴があるかと思えます。また，中国，四国，九州，沖縄では，1月（成人の日を含む三連休）の割合が少し低く，1月中のそれ以外の日に実施している割合が少し高くなっているというような，そういった地域差が見てとれるところかと思えます。

続きまして，「地域」と「成年年齢引下げ後の方針（対象年齢）決定の有無」の関連性，「地域」と「成年年齢引下げ後の対象年齢」の関連性1枚おめくりいただきまして，2枚目の一番上の「地域」と「成年年齢引下げ後の方針（時期）決定の有無」については説明は割愛させていただきますが，資料に記載しておりますので，御参照いただければと思います

真ん中の表は，「地域」と「成年年齢引下げ後の実施時期」についてクロス集計したものでございます。

実施時期については，既に方針決定している94の自治体にお伺いしたものですので，母数は小さくなっておりますけれども，全体的な傾向といたしましては，冒頭申し上げた現在の実施時期とよく似ており，東北地方では8月の割合が高く，四国，九州，沖縄地方では，成人の日を含む三連休以外の1月中に実施しているという割合が若干高くなっております。

2枚目の一番下は，「成年年齢引下げ後の対象年齢」と「実施時期」についての関連性を示したものです。

これについては母数自体が小さいものですから，これだけで全体の特徴を把握することは難しいですが，18歳を対象とすることを決めた自治体は，これは1箇所だけですけれども，これまでどおり成人の日を含む三連休に実施すると回答されております。19歳で実

施するのは、本日お越しいただいた国東市ですけれども、8月に実施するという御回答を受けております。

1枚おめくりいただきまして、3枚目の上の表は、「現在1月の三連休に実施していない理由」と「現在の実施時期」についての関連性を示したものです。

1月（成人の日を含む三連休以外）に実施している自治体では、一番多いのが、年末年始に帰省して、成人式のために再度帰省する負担が大きいという理由でした。対象者が集まりやすいというのが次に多い理由でした。

それから、4月、5月のゴールデンウィークなどに実施しているところを見ますと、この中で多いのは、降雪や積雪という理由を挙げていただいた方が、数としては一番多くまた、8月も同様に降雪や積雪を避けるという理由を挙げるところが多いようでございます。

その他は、表に記載されたとおりですので御参照いただければと思いますので、下の二つについては説明を省略させていただきます。

1枚おめくりいただきまして、4枚目の一番上の表は、「成年年齢引下げ後の実施時期」「現在の実施時期」の関連性を示したものでございます。

それぞれごらんいただければ、全て100%ということになっておりますように、既に方針を決めているという自治体は、どこも今までどおりという結論になっており、今回、成年年齢の引下げに伴い、時期を変更することとした自治体は、現時点ではないということでございます。

最後に、「三連休に実施しない理由」と「成年年齢引下げ後の実施時期」についてのクロス集計の表も用意しておりますけれども、こちらは記載のとおりでございますので、説明は割愛させていただければと思います。

クロス集計についての説明は以上でございます。

この点について、何かございますでしょうか。特によろしゅうございますか。

それでは、議事次第の3に進ませていただきます。

冒頭申し上げましたけれども、本日は大分県国東市教育委員会の社会教育課長でいらっしゃいます真城孝之様にお越しいただいております。本日は暑い中、遠路お越しくくださりましてありがとうございます。よろしくお願いたします。

○真城孝之参考人 よろしくお願いたします。

御紹介をいただきました、大分県の国東市という大分空港のあるところでございます。国の東と書いて「クニサキ」は大概読めないんですけれども、絶滅が危惧されている市町でございます。毎年500人ずつ人が減っておりますので、ホームページに3万5,000とありますが、今はもう2万8,000を切っております、かなりのペースで人口減少が進んでいます。そういうところからまいりました。

すいません、ちょっと声が、夏風邪を引いてからなかなか戻ってきませんで、失礼をします。

それでは、ヒアリング項目につきまして私のほうから、どういったことかというお話をさせていただきますと思います。

一番最初の成人式を行うことの意義ということで、大上段からの御質問がございましたけれども、儀式であるということでございますけれども、成人を迎えてから、多くの権利が与えられるとともに義務も課せられまして、ひとり立ちの社会人として第一歩を踏み出す

こととなりますので、成人式が儀式に終わることなく、これを契機に大人になったことを自覚して、正しい判断と勇気を持って、厳しい社会に挑んでもらいたい、そのための成人式であれば幸いと考えております。

2番目の現在の成人式の対象年齢でございますけれども、現在は二十歳になる年齢の者ということで、19歳、20歳を対象としております。そして何月ということで、8月15日に開催をして夏の成人式になります。15日というのは、以前、成人の日が1月15日でしたので、それを引き継いできて8月15日というふうにやったものだとして解釈しております。

それで、成年年齢引下げ後の対象年齢を19歳とした理由ということですが、なぜかということで、これは多いと思ったんですね、私たちとしては。なぜか少なかったということで。なるべく早いうちに一つの区切りといいますか、お祝いとして市としてやってあげたいなど。でも、17歳、18歳は高校生がほとんどになりますので、そういった高校生の日常の中で行う成人式よりも、一步社会に踏み出したことによって、大人の一員となったことを感じられるんじゃないかなと。この大人の仲間入り意識を高めるために成人式という場を提供して、うちはほとんどの方が外に出ていくんですね、残る方は少ないです。ですから、そういう地元に戻ってきていただくということで、地元愛、郷土に対するこれまでと違った思いも感じていただきたいということで、ちょうど社会に出たところで、そのなるべく早い段階ということで、この年齢設定を考えております。

この対象年齢を20歳から変更することを決定するに当たり、問題等はありませんかというふうにあるんですけれども、一応、22年4月施行という予定になっておりまして、二十歳になる年に成人式をこれまでどおり迎えるという方々と、19歳の年で成人式を迎える方々と、二組を行わなければならないということがございます。今考えているのは、同一日に2回できるかということ、もしくは2日に分けて実施というふうに今考えているんですが、会場の確保等はできるんですけれども、1日というのはなかなか厳しいので、今のところは2日という線が強いかなというふうになっております。

次に、成年年齢引下げ後の実施時期を8月とした理由でありますけれども、今現在も8月で行っておりまして、これは平成18年3月に市町村合併をしたときにおきまして、4町を合併したんですが、全部8月15日開催だったんですね。これは昭和40年代半ばから50年代後半にかけて、旧4町でそれぞれ8月開催に変更されたようであります。1月開催の当時、なかなか参加者が少なくなってきたというのがありまして、いろいろな議論がそのときあったようです。成人式のために高価な晴れ着を準備するというのは、国東半島は産業がございませんので、一次産業が主ですから、裕福なコースはなかったんですね。ですから、わざわざ晴れ着をつくるというのもなかなか難しいような状況だったので、比較的軽装で参加できるということで、どうもアンケート調査もしたようであります。そうした議論もあって、8月の開催ということで、8月15日が今定着をしております。

参加者数は、対象者の70%以上に参加をしていただいておりますので、現在、別に1月開催にしてくださいという意見も大きな声はございませんので、私どもとしては、このまま8月開催でやりたいというふうに考えております。別段、問題はないんじゃないかなと思っております。

以上であります。

○座長 どうもありがとうございました。

国東市では、今、真城様からも御紹介ありましたように、その年度で19歳になる方を対象に成人式をするという方針を決めておられます。今回、全市町村を対象とするアンケート調査を行ったところ、そもそも対象年齢について方針を決定したところが余り多くないですけれども、その中で言えば大多数が20歳を維持するという中で、19歳を対象とするということを決められたということでしたので、今回お越しいただいたということでございます。

対象年齢を変えた場合に、最初の年度にどうするかと、複数の年次をどう扱うのかというところは、この分科会でも何度か話題になったことがありましたけれども、こういった問題につきましても、真城様のほうから国東市の方針を御報告いただきまして、大変参考になったかと思えます。

せっかくですので、もし御質問等ございましたら、できる範囲で真城様にもお答えいただきたいというふうに思いますけれども、いかがでしょうか。

○文科省 19歳の8月というところのお話ですが、他の自治体では、実行委員会をつくって準備される場合、半年、あるいはそれ以上前から組織して準備していくということが随分あるように思います。その場合、18歳で高校を卒業するまでは結構受験だとか、就職活動とかあると思いますけれども、それが終わってから実行委員会の本格的なスタートをするということになると思いますが、そういった中で、準備期間といった面での課題について、何か議論はありましたでしょうか。

○真城孝之参考人 現在も実行委員会でやっておりますけれども、実行委員会の構成員につきましては、高校生のおきにボランティアで成人式の運営に参加をしてもらっているんです、当日ですね。そういうものにかかわってもらっておりますので、そしてコーディネーターもしっかりしておりますから、そういうボランティアのつながりができておりますので、準備期間を見ているものについては余り心配はしていません。

○文科省 それは、現在の自分たちの学年というよりは、別の学年の成人式を、現役の高校生が手伝うという、そういう……

○真城孝之参考人 そうですね。先輩の成人式を後輩が手伝う。お手伝い、ボランティアとして。実行委員会は同学年が実行委員会をつくっているんです。その実行委員会のお手伝いを下の学年、現役の高校生にってもらっているということなんですね。

○座長 ほかに何かございますか。

○全国都市教育長協議会 今回は2学年分やるから、2回実施されるということなんですけれども、1学年ずつ分けて2回、どっちに参加してもいい、半分ずつ……。

○真城孝之参考人 やはり同級生同士のほうが参加して、後でちょっとしたミニクラス会という、お酒は出ませんけれども、やりますので、その当時の担任が成人者を1人ずつ名前を呼んで、呼び出すんですね。そういうことをやっておりますから、ミニクラス会というのがありますので、同学年のほうが話が盛り上がると思うので。

○全国町村教育長会 今までの議論の中で、例えば二十歳で行いたいという親が多いとか、そういう子供たちの成人式なんだから晴れ着でやっていきたいとかという、そういう希望が強いので二十歳での成人式を続けていきたいとか、お酒を飲めるようになるのが二十歳なので、その時期を外して18歳、19歳でやると、そういう楽しみがなくなっちゃうかな

とか、そういう話がいろいろあるかと思うんです。そのような点でクリアした部分というのはあるんですか。

○真城孝之参考人　うちは今、19歳、20歳が対象年齢になって、現在の対象ですね。19歳はもちろんお酒は飲めない形なんですけれども、そういう形でも今成人式をやっているんです。19歳です、対象者は。8月ですから半分以上は19歳なんです、うちのほうとしては。ですから、そういうのもあって、余り問題じゃないのかなというふうには考えています。

○全国町村教育長会　今までもそうだったですからね。

○真城孝之参考人　今までも、7割ぐらいは19歳なんです。

○全国都市教育長協議会　その年度内に二十歳になる人ということだからね。

○真城孝之参考人　19歳、二十歳です。今、実際やっているところ、うちはそうやっていまして、余り深く考えていないんですね。

○全国市町村教育委員会連合会　親たちの希望はどうなんですか。

○真城孝之参考人　親たちにはアンケート等をとっていないんですね。10年ぐらい前に高校3年生にアンケートをとった経緯があるので、市町村合併したときにですね。そのときも、今のほうが集まりやすいと、夏の開催のほうが集まりやすいという意見が多かったようで、1月に晴れ着を着たいとかいう意見はあったんでしょうけれども、少数派だったと思います。

○全国都市教育長協議会　皆さん、外に出ていらっしゃるとお聞きしたので、帰ってくるあれなんですかね、お盆のとき……。

○真城孝之参考人　9割方出ていきますから。

○座長　ちなみに、成人式の参加者は例年何人くらいかを教えていただけますか。

○真城孝之参考人　昨年の対象者は318名で229名でしたね。29年は332名で232名。大体70%、71、72%ぐらいの参加率という。外国人も参加はしていますけれども。

○座長　住民票が国東市にあれば参加できるのですか。

○真城孝之参考人　住民票もそうですけれども、中学校出身者。高校出身の方も、希望があれば参加していただいています。

○座長　さっき、担任の先生が呼ばれるとおっしゃいましたが、これは中学校の担任の先生ですか。

○真城孝之参考人　そのとおりですね。中学校の担任が一人一人名前を呼んで、そこで、会場内で返事をして立ち上がるという。

○全国都市教育長協議会　先生もかかわるんですね。

○真城孝之参考人　人気のある先生のとときにはこう勢いよくですね。うちは荒れていませんから。金髪はおりますけれども、荒れてはおりません。

○厚生労働省　2点ほど教えていただきたいんですけども、というのは、今回、20歳になる年齢から19歳になる年齢に変更されたということで、変更に至る、何とおっしゃいましたか、検討会、何か検討する経緯、プロセスを教えてくださいということと、あと8月に行われるということで、軽装でというお話もありましたけれども、具体的に男性とか女性というのはどんな服装をされているのかなど、成人式に出られるときにですね。と

いうところを可能な範囲で教えていただければと思います。

- 真城孝之参考人 これの決定は、部局内でこういう方針というのが出るんですけども、最終的には市長を含む教育総合会議をした中で議決するんですが、そこまでは至っておりません。ちょっと期間がありますので、教育長の段階まではもう話をしておりますが。ですから、これからは最終的に教育総合会議で決定するという形になるんですかね。議会報告等もしなきゃいけないんですが。そういう部分も含めて、手続を踏んでいく一番最初の段階みたいなことですね。
- 厚生労働省 そういう中で、ちょっと繰り返しになりますけれども、外部の関係する高校生の方であったり親御さんとかの御意見は特に伺わず、今のところで。
- 真城孝之参考人 今のところは聞いていないんですが、必要であれば、今後そういう機会も設ける、設けないというわけではありません。あと服装は、羽織袴の方もおりますけれども、余りいませんね、暑いから。薄いほうは夏用のスーツといった形、Tシャツはいませんけれども。
- 座長 ちょっと話が戻りまして、国東市では、教育委員会と新成人の実行委員会の合同開催みたいな形ということでよろしゅうございますか。
- 真城孝之参考人 そうですね。国東市としてもやっておりますけれども、皆さん、実行委員会をつくるのは、運営としての実行委員会という。
- 座長 スケジュール感として、大体8月に実施するということになると、大体その実行委員会はいつぐらいに立ち上げて、いつごろから準備が始まるという感じですか。
- 真城孝之参考人 まさに、もう今から始めています。もう今は成人の宣誓とかしますよね、成人の誓いですとか。そういう部分を今決めていっているところなんですね。
- 座長 ことしの8月に向けて。
- 真城孝之参考人 8月に向けて。
- 座長 そうすると、何カ月も前から頻繁に集まってという形ではない。
- 真城孝之参考人 そういう感じではありません。ある程度こちらのほうが連絡はいたしますので、その中で、自分たちはどうかかわり方をするかということで、主なのは成人式が終わった後のミニクラス会の、そういうところの取りまとめとか、そういう部分をやってもらっていると。
- 全国都市教育長協議会 中学校って何校ぐらいあるんですか。
- 真城孝之参考人 今は四つになっております。
- 全国都市教育長協議会 4校の中学校が……
- 真城孝之参考人 はい。旧町に1校ずつあるんですね。まだあったんですけども、平成20年ぐらいに統合をしたんですね。
- 全国都市教育長協議会 中学校の方たちも何か準備をされているわけですよ。その担任だった先生とか、誰が来るかとか。
- 真城孝之参考人 そうです。それはもう早目の連絡をしておりますので。
- 座長 19歳を対象とするということは、大体卒業して、進学なり就職なりされて、4月から新しい生活始まって、その年の4カ月後に成人式を迎えることになるわけですが、今おっしゃったようなスケジュール感で言えば、4カ月あれば十分間に合うんじゃないかという、そういうことですね。

○真城孝之参考人 そうですね、はい。先ほど言いましたように、高校生のときにボランティアとしてかかわっていただいているので、その流れを引き継いでおりますから、1度経験しているようなものなんですね。

○座長 ありがとうございます。

全国市町村教育委員会連合会、お願いします。

○全国市町村教育委員会連合会 ありがとうございます。

開催に当たって、一つの式典としてやりますよね。それで終わった後、ミニクラス会みたいなものやっているとことですのでけれども、そうすると、このミニクラス会については、全クラスというか、全学校が、例えば担任任せになっているのか、一つの基本形みたいなものができていて、それに基づいてクラス会をやっているのか、その辺なんですけれども、わかれば教えてください。

○真城孝之参考人 クラス会は中学校ごとに実施しております。四つしかありませんので、4グループ祝っているだけだと思います。それで、そのときのクラス担任、担任は1人じゃなくて2人のところもありますから、そういうところは7クラスだったら指導員、補導員の先生がいるので、その先生方を含めて、今やっていると思います。

式典があった後、どこもやると思うんですけども、撮影会みたいなものですね、そういうのも、それが終わった後にミニクラス会みたいなものを、小一時間程度ですけれども。

○市町村教育委員会連合会 そうすると、式そのものからはそれは外れてー外れていると言うと変ですけども、全体の計画の中にはミニクラス会は入れていないんですか。

○真城孝之参考人 入っています。

○市町村教育委員会連合会 入っていますか。

○真城孝之参考人 一連の流れの中で、ミニクラス会という。

○座長 ほかには何か御確認等はございますでしょうか。

よろしゅうございますか。

最後に、本日、ヒアリング項目ということで予定していただいたものの1枚目の一番下のほうに、「早めに計画がまとまれば会場の確保や出席者の調整は可能である」というふうにお書きいただいているのですが、今後のスケジュールと申しますか、この辺の計画というのはいつごろに具体的に決めるというのは、現段階で決まっておりますでしょうか。

○真城孝之参考人 まだ現段階では、今、8月14、15でやろうかなという線が一番強いんですね。まだ強いだけで最終決定をしておりませんので、会場は市の会場を使いますので、もう最後でいいということなんですけれども。

○座長 わかりました。

よろしいでしょうか。

では、真城様、本日は本当に遠いところ、どうもありがとうございました。

それでは、議事次第に戻りまして、おおむね真城さんを踏まえて意見交換ということも行いましたが、ほかに本日、せっかくの機会ですので、何か御発言等はございますでしょうか。

どうぞ。

○全国都市教育長協議会 アンケートをしたときの回答率は目立たなかったと思うんですが、まだ決めていないところが多くて。またアンケートはやるんでしょうか。

○座長 そうですね。決めていないところは多いということはおっしゃるとおりです。おおむね今年度の後半とかに決めるというようなところが、割合としては多かったかなというふうに思っておりますけれども、ただ、私どもといたしましては、既に何度かヒアリングを行ってまいりましたし、アンケート結果を踏まえて、本日、真城様にもお越しいただいたということもありますので、そろそろ取りまとめに向けて進めていきたいというふうに思っております。

そういう意味で、また改めてアンケートを行うということは、現時点で予定しておりません。

○全国都市教育長協議会 今まであったことをお伝えして、よく考えなさいという感じで。

○座長 そうですね。さまざまな御意見の内容、どうしてこういう年齢が採択されたのかということとか、その場合の複数年次の開催の問題についてどうするかというようなところも、情報として集まってきたものを発信していくのが私どもの役目だと考えておりまして、そろそろ取りまとめに向けて手続を進めていきたいというふうに思っております。

ちょっとまだ具体的なスケジュールについては、もう少し検討させていただきまして、改めて御連絡を差し上げたいというふうに思います。

本日、特になければ以上とさせていただきたいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。

それでは、本日の第6回会議は以上ということにさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。

—了—